



大阪女学院大学 国際共生研究所

ファシリテーション・メディエーション研究プロジェクト 公開研究会

「学びのファシリテーターとしての教師 ー探究学習とアート・ワークショップの接点」



学校教育では探究学習への関心が高まっている。児童・生徒の疑問や関心に基づいて展開される探究学習では、教師が意図したような授業や学習展開が実現するわけではなく、教師自身も答えを持たない（あるいは持てない）テーマに子どもと共に取り組む〈学びのファシリテーターとしての教師〉が求められている。こうした教師のあり方は、従来の教室のコミュニケーションを枠づけてきた教師／生徒の関係（知識を持つ者／持たざる者の関係）を根底から組み替えるものであり、教員を目指す学生にとっても大きな挑戦となる。この新しい課題にしなやかに向き合うマインドセットの育成を目指し、教員志望の学生を対象に実施したアート・ワークショップ（EGAKU）の実践研究を紹介し、これからの教育や教師のあり方について、参加者の皆さんと共に考えてみたい。

報告者：
**大阪成蹊大学 教授
羽野 ゆつ子 氏**

日時：
**2026年12月11日
15:10-16:20**

会場：
**大阪女学院大学
1階 会議室**

参加費：無料

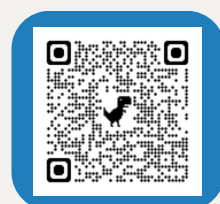
報告者プロフィール

1970年京都府京都市生まれ。同志社大学卒。大学では心理学を専攻し、卒業後は民間企業に就職。その後、滋賀大学大学院教育学研究科に進学し、現職教師との交流機会を得て、教師教育への関心が生まれる。大阪成蹊大学芸術学部の教職課程担当を経て、現在、同大学教育学部・大学院教育学研究科教授。教師の知性や教師の生涯発達と学習に関心をもち、教師の熟達化研究と、教員養成の実践研究を行っている。日本教育心理学会、日本教師教育学会、日本ホリスティック教育/ケア学会会員。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了（教育学博士）。「ローリス・マラグッツィの子ども観の一考察：探究学習の実践化を支える教師教育への示唆」（同志社教師教育研究, 2026）、『専門職として成長し続ける教師になるために：教職詳説』（分担執筆, 2023）など。

＊ ファシリテーター：
大阪女学院大学 前田 美子 教授

＊ 共催：
大阪女学院大学 教員養成センター

→
お申込みはこちら



<https://forms.gle/RvTP53nahwUtB4Nm9>